

御廟

霊廟は高山寺の開祖明恵(1173~1232 年)の永眠の地である。高山寺の歴代住職もここに埋葬されている。

霊廟の内部には、日本における華嚴宗と密教的な真言宗の慣習の象徴である五輪塔(五重塔)がある。霊廟の左端には鎌倉時代(1185~1333 年)建立の三重宝篋印塔が立つ。その隣には、如法経という小さな塔がある。

入口近くの石碑には、明恵の遺訓である「あるべきようにあれ」という意味の「阿留辺幾夜宇和」が刻まれている。